

《修士論文要旨》

# 発達の遅れのある幼児に対する 身体表現の効果に関する研究 －バレエ・ダンスセラピーを通して－

田 中 美 苑\*

本研究は発達の遅れのある就学前の幼児を対象にバレエ・ダンスセラピーについて研究考察を行った。

バレエ・ダンスセラピーとは、非言語であり、身体表現を扱うところはダンスセラピーと同様である。ダンスセラピーの手法の中で、クラシックバレエの音楽を用い、クラシックバレエの要素を付け足したものである。そこで、「バレエ・ダンスセラピーとは、クラシックバレエの音楽、世界、技法を用いて行う。しかし、評価を行うのではなく、個人が感じた世界を表現するためにクラシックバレエをツールとして使う非言語的コミュニケーション、心的世界の表出による自己理解、他者理解を深め自己愛の強化を援助する」と定義し、本研究を進めていきたい。

本論で取り上げる発達の遅れとは“発達障害”を指さない。各年齢における発達の特徴を元にクリアできていないものを“発達の遅れ”と命名し、3、4、5歳児の発達の主な特徴について述べる。

①クラシックバレエの音楽と世界を利用し身体を使い集団で行うことにより、自律性が芽生え、社会適応能力が自然と身につくようになり、自己表現、集団意識を強化出来るのではないか。②発達の遅れのある幼児を対象にバレエ・ダンスセラピーを行うことで、身体的・情緒的発達の助けになるのではないか。以上の2点に注目し、検討する。

まず、同じ部屋に存在しているが交わることはなかったひとり遊びで第1段階では、主に“戦いごっこ”があった。子どもたち全員がヒーローだが、もめることもなく、戦う敵に関しても最初は架空であった。展開していくと、筆者らが敵に見立てられるが、メンバーで協力して敵を倒そう、とはならず個々の戦いが多かった。個々人が主役なので、筆者の問い掛けに対しても反応はなかったが、「〇〇くんがつかまった！助けてあげて！」との何気ない筆者の声掛けに初めて反応を示し、協力して敵を倒すという共通した目的ができていた。セッション3回目以降では5名全員が揃うと、自然と仲間意識、他者認識が可能になってきた、と考えられる。セッション3回目から集団性が見え始め、セッション5回目には“順番”という概念が出てきたからである。

“順番”というルールも幼児の自発的な発言から生まれた。“順番＝ルールを守る”ことをエリックソンの発達理論で考えてみる。まず、順番を守るという行為が、自分自身の身体を自己制御し、自律の感覚を学習しているのである。発達段階で見ると、第Ⅰ段階は希望、第Ⅱ段階は意思力、第Ⅲ段階は目的意識である。バレエ・ダンスセラピーのセッションの中で、参加幼児は

平成23年度 \*社会学研究科社会学専攻（臨床心理学コース）

第Ⅱ段階を達成でき、第Ⅲ段階も達成しつつある。つまり、セッションに表面上では参加していても、メンバーにいたずらをしてみたり、筆者の提案にそのまま乗るのではなく、自ら違う動きをして見せるなど、自身で考え、自発的に行動する積極性が見られたのである。

次に、“発達の遅れ”と命名した年齢の発達特徴から考える。保育所保育指針によると、5歳児でルールを守ると言う集団としての機能が分かってくるなどが挙げられていた。バレエ・ダンスセラピーが開始される前の幼児たちの発達特徴としては、平均して3歳児程度であった。というのも、基本的に平行遊びであったし、話し言葉は獲得しているが幼児語が残っていた。しかし、セッション5回目では、順番を守る行動が出現し、集団としてのルールが出来上がった。順番を守る、という行動は自身の気持ちを抑え我慢をし、相手に譲る気持ちが必要となる。これは、同じ目標に向かってまとまって活動することにつながる。言葉を主体とし、きまりを守る必要性が分かってくるのが、5歳児の発達の特徴とされており、3歳児レベルの発達の特徴であったメンバー達が年齢相応の発達特徴を獲得したと言える。

クラシックバレエを利用することは、過去の研究にもない。しかし、クラシックバレエは非日常の世界であり、現実世界にしんどさがあっても、気分を一新させることが出来る。身体を動かすことによって、爽快感を感じる事が出来る。クラシックバレエに欠かすことの出来ない音楽が心を満たしてくれる。戦いごっこにもバレエ音楽を用いた。幼児たちには届いていないかもしれないが、戦うという動きにクラシックバレエ音楽を用いるところからバレエ・ダンスセラピーは始まっているのである。

以上のことから、目的①は支持された。しかし、目的②は、セッション以外での家庭や園における関係性、体験や経験による成長も考えられるため、言い切れない。しかし、「順番」とルールを共有できた等変化はみられた。何より保護者からの支持は得られ、大きな変化ではないが変化は確実にあり、そして効果はあったと考えられる。